

ジオメンブレン技術委員会報告

(株) ジオトップ 金井重夫

I G S日本支部・ジオメンブレン技術委員会は平成5年11月の発足以来、定期的（毎月1度）に会合を持ち、活発な討議を続けてきた。ジオメンブレンに関する知識・経験を多面的に統合し活動を強化するため、昨年12月には新たな委員を公募、当委員会は現在、30余名により運営されている。ここでは、第2回（昨年12月21日）と第3回（1月28日）委員会における議事の概要を報告する。

ジオメンブレン技術委員会では、当面、情報の交換と収集を通じた人材育成に活動の重点を置くこととしており、第2、3回の委員会において、メンブレンの製造・試験・施工に直接、携わった各委員より以下のような話題提供があり質疑応答を行った。

1) 『ジオメンブレンの試験方法について』（岩崎高明委員）

不織布アスファルト含浸シート（ジオメンブレン）の試験法と貯水池への適用例を報告した。当該ジオメンブレンの特性、わけても長期にわたる酸、アルカリ、塩などに対する安定性と飲料水などへの安全性、不陸のある下地面での良好な施工性が強調された。また景観に合わせた使用が可能であるとの特長が説明された。

2) 『貯水池へのジオメンブレンの適用について』（増田民夫委員）

ダム貯水池にジオメンブレンを適用するにあたっての設計・施工上の留意点を、日本とアメリカでの実施例をもとに説明した。メンブレン下地面の施工管理とコンクリートとメンブレンの取り合い部分の施工が重要であることが指摘された。栗山ダムでのメンブレン選定に当たってのポイントは、素材の扱い易さからくる施工性と、継ぎ手処理の確実性・耐久性であった。

3) 『国内におけるジオメンブレンの現状について』（三木博史委員）

アメリカにおけるジオメンブレンの設計法と試験法について現状を紹介し、この分野での日本の立ち後れを指摘すると共に、最近、建設省土木研究所で実施した各種メンブレンの性能試験結果について報告があった。特にメンブレンの使用環境が厳しい廃棄物処理地（ランドフィル）でのジオメンブレンの設計法と、それに付随すべき試験法の確立が急務であるとの考えが示された。

4) 『ジオメンブレンを使用した廃棄物処理施設について』（新井齊委員）

国内の廃棄物処理施設でのジオメンブレン適用例と、ジオメンブレンが損傷した場合の漏水検知のためのモニタリングシステムを紹介した。現在、国内では様々な素材のメンブ

レンが製造・施工されているが、遮水性の優劣により集約されていくとの見方が示された。近年、その使用が増えているポリエチレン系のジオメンブレンについては、剛性の高さからくる安心感と高い遮水性とは裏腹に、施工性の悪さが指摘された。

これらの話題提供により、ジオメンブレンの特性と国内外での適用例、適用上の問題点などが把握された。遮水工としてのジオメンブレンの使用に当たっては、適切な試験に基づくジオメンブレンの評価手法や耐久性といった素材としての問題、継ぎ手の設置方法や下地の養生方法などの施工面での問題があり、今後、ジオメンブレンに関する何らかの試験基準や設計指針を策定する上で重要と考えられる。

また、委員会内部での話題提供とは別に、広く外部からの情報収集の一環として、国内外のジオメンブレンに関する文献の抄録を作成するワーキンググループを当委員会内に設置した。ワーキンググループは、差し当たりジオメンブレン関連のまとまった最新情報である「4th International Landfill Symposium - SARDINIA 93」によりもたらされた、約200の文献の抄録に着手している。これらの抄録の結果からIGS会員が興味ある文献を簡単に検索できるよう、キーワードの整備が通産省のジオシンセティック用語、土質工学会の標準キーワードなどとの整合を取りながら同時に進んでいる。

なお、前述したような人材育成の観点から、当委員会では年間に2度程度、セミナーを開催することを企画しており、3月16日に「第1回ジオメンブレン技術に関するセミナー」を開催することが確定している。



訂 正

1993, 12月号(Vol. 9, No. 3)土木用ジオメンブレン関係の
団体紹介記事(著者: 太洋興業(株)古市 日出造)に下記
のような誤りがありました。お詫び申し上げますととも
に、ここに訂正いたします。

記

・13ページ本文 3行目

ジオメンブレンの年間100万m²を1,000万m²に訂正します。

ジオメンブレン技術委員会 名簿

1. 委員長	堀口 隆司	(株) ジオトップ	TEL03-3667-4231
2. 顧問	福岡 正巳	東京理科大学理工学部土木工学科	TEL03-3901-4747
3. 委員兼幹事	熊谷 浩二*	前田建設工業(株) 技術研究所	TEL03-3977-2241 FAX03-3977-2251
4. 委員	赤木 俊允	東洋大学工学部土木工学科	TEL0492-31-1133
5. 委員	新井 斉	前田建設工業(株) 土木営業第3部	TEL03-5276-5117
6. 委員	稲葉 英彦	ダイニック(株) 営業企画東京グループ	TEL03-5210-9269
7. 委員	今泉 繁良	宇都宮大学工学部建設学科	TEL0286-61-3401
8. 委員	岩崎 高明	三井石化産資(株) 土木資材事業部	TEL03-3837-1581
9. 委員	梅沢 俊雄	平岡織染(株) 営業開発部	TEL03-3876-2111
10. 委員	大島 久生	三井石化産資(株) 土木資材事業部	TEL03-3837-1581
11. 委員	金井 重夫*	(株) ジオトップ 開発部開発企画部	TEL03-3667-1191 FAX03-3667-6162
12. 委員	小浪 岳治	岡三興業(株) 開発事業部	TEL03-3436-0700
13. 委員	近藤三樹郎	(株) プリジストン土木止水開発室	TEL045-825-7540
14. 委員	近藤 誠	平成ポリマー(株) 商品開発部	TEL0298-31-1362
15. 委員	坂口 昌彦	大成建設(株) 技術研究所	TEL045-812-1211
16. 委員	新谷 秀人	三菱油化産資(株) 土木資材部技術室	TEL03-3279-8288
17. 委員	鈴木 茂	ゼオン化成(株) 土木資材事業部	TEL03-3297-6126
18. 委員	田島 健司*	三菱建設(株) 技術研究所	TEL03-3270-0405 FAX03-5203-8085
19. 委員	所 武彦	日本総合防水(株) 研究開発部	TEL03-3403-0171
20. 委員	富士 佳司	(株) 田中技術管理部	TEL0725-32-5381
21. 委員	大野 文良	清水建設(株) 土木本部技術第1部	TEL03-5441-0560
22. 委員	細谷 芳巳	(株) 大林組技術研究所	TEL0424-95-0924
23. 委員	巻内 勝彦	日本大学理工学部交通土木工学科	TEL0474-69-5217
24. 委員	枅尾 孝之	太陽工業(株) 土木エンジニアリング 事業部	TEL03-3714-3425
25. 委員	増田 民夫	東京電力(株) 建設部土木調査課	TEL03-3501-8111
26. 委員	松山 真三	タキロン(株) 八日市工場技術部開発課	TEL0748-23-1555
27. 委員	三浦 信隆	旭化成工業(株) 建材開発研究所	TEL0280-87-5278
28. 委員	三木 博史	建設省土木研究所材料施工部	TEL0298-64-2211
29. 委員	水田 邦憲	三星産業(株) 販売部	TEL03-3912-3441
30. 委員	御船 直人	(財) 鉄道総合技術研究所	TEL0425-73-7339
31. 委員	村上 豊	(株) 田中技術管理部	TEL0725-32-5381
32. 委員	森松 敏夫	東拓工業(株) 開発研究所	TEL 06-311-2125
33. 委員	横田 善弘	前田工織(株) 土木資材部	TEL0776-51-3535
(事務局)	森田 敏郎*	国際ゾネキスナル学会日本支部	TEL03-3251-7661 FAX03-3251-7636

*印：幹事グループ構成メンバー